

第47回日本臨床細胞学会秋期大会  
スライドセミナー  
婦人科LBC

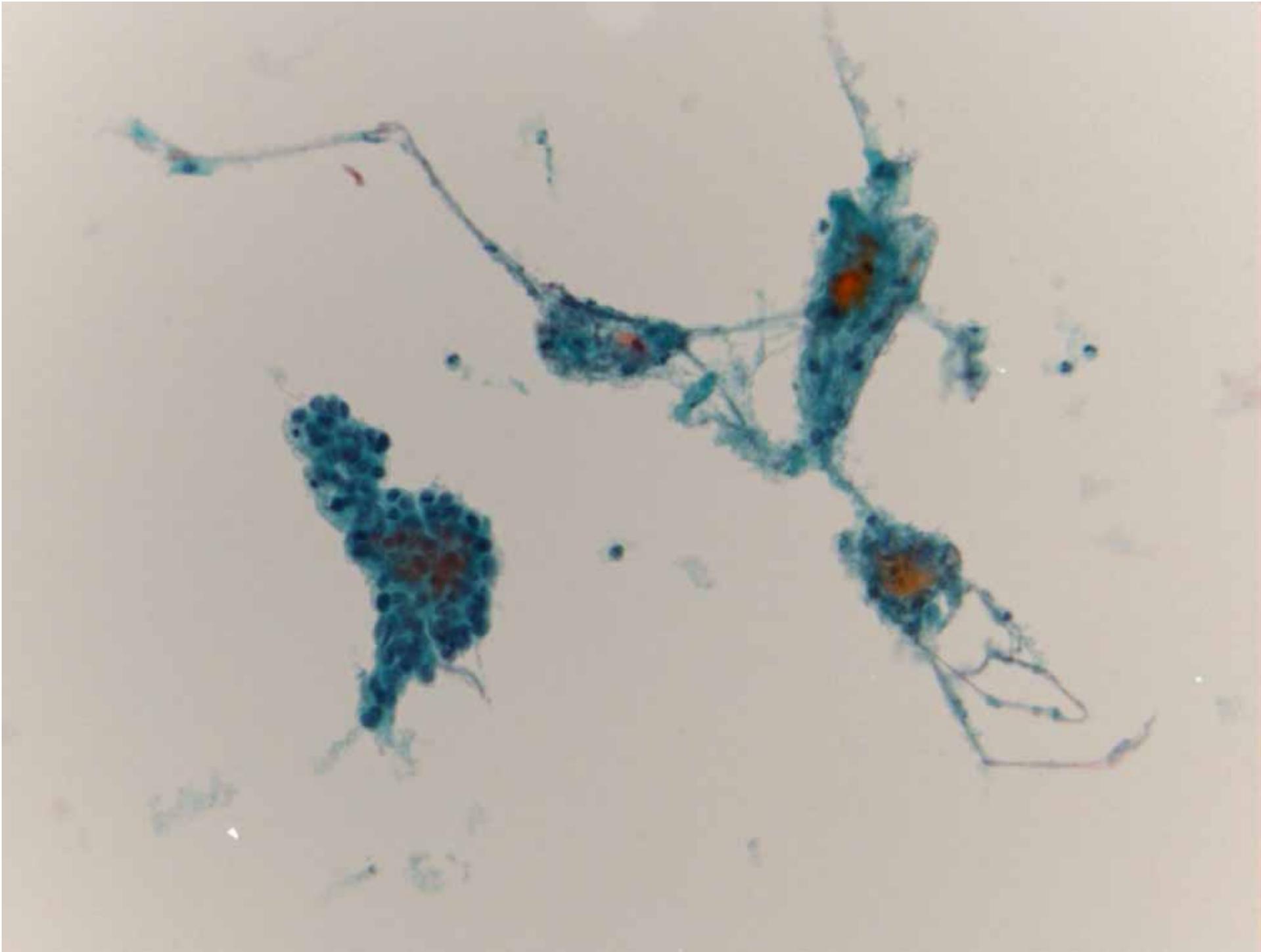
癌研有明病院婦人科  
藤原 潔

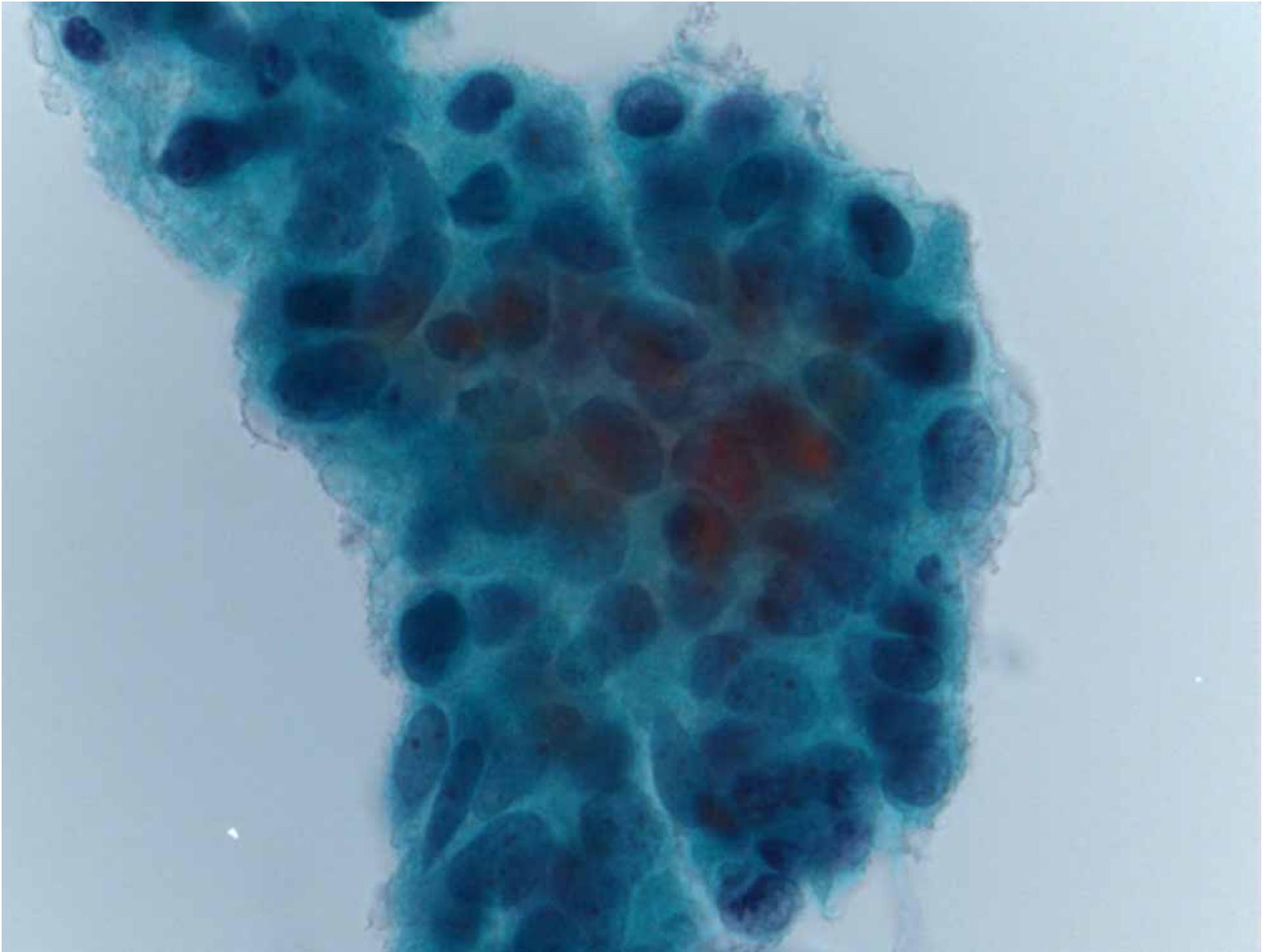
## < 臨床経過 >

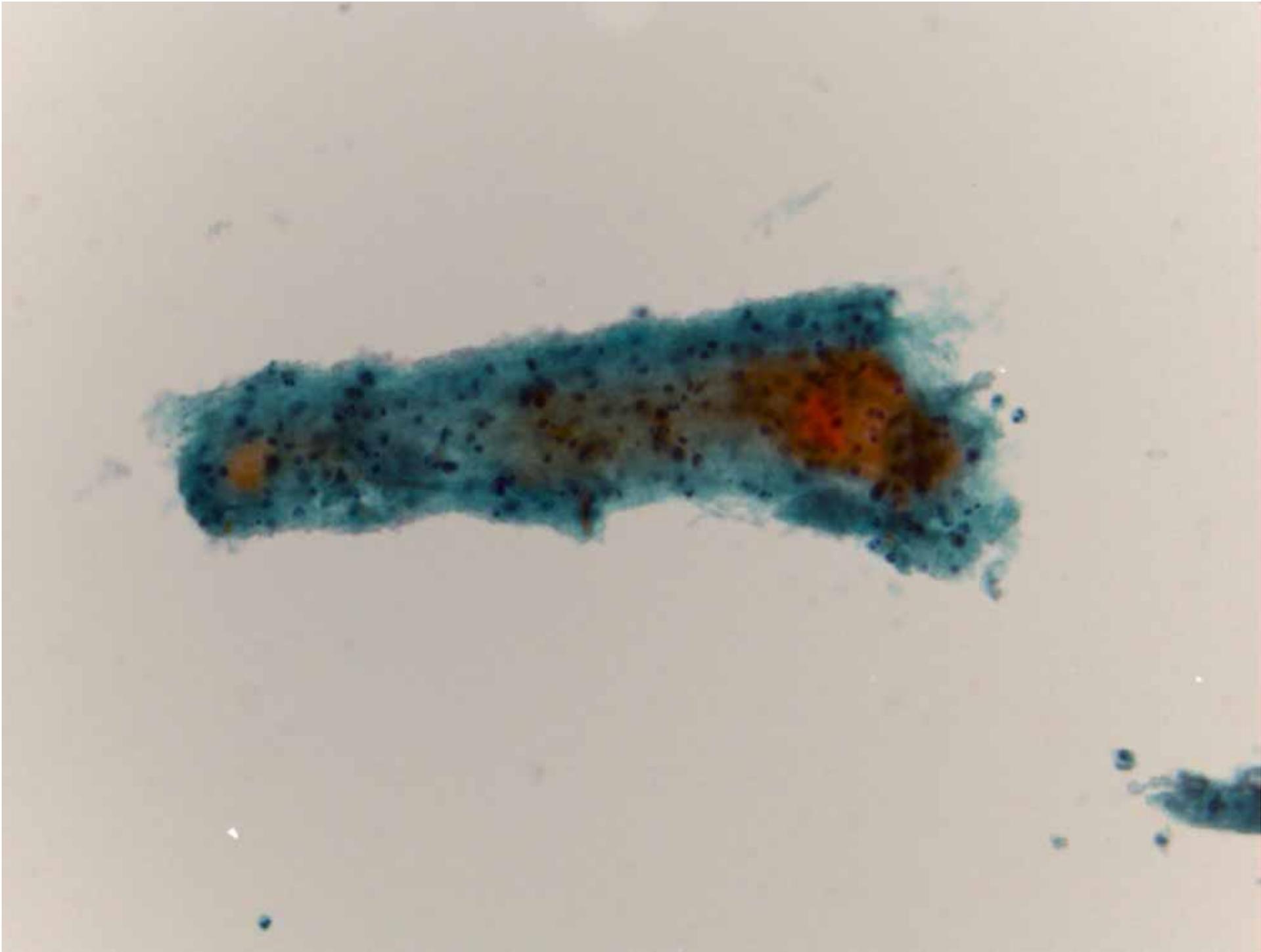
- 71歳 1G0P 51歳 閉経
- 既往歴;
  - 30歳 虫垂炎
  - 35歳 肺結核
- 合併症;
  - 70歳 高脂血症（現在治療中）
- 現病歴;
  - 当院初診の2ヶ月前より不正性器出血を自覚
  - 当院初診1ヶ月前に前医を受診、精査目的で当院受診を勧められた

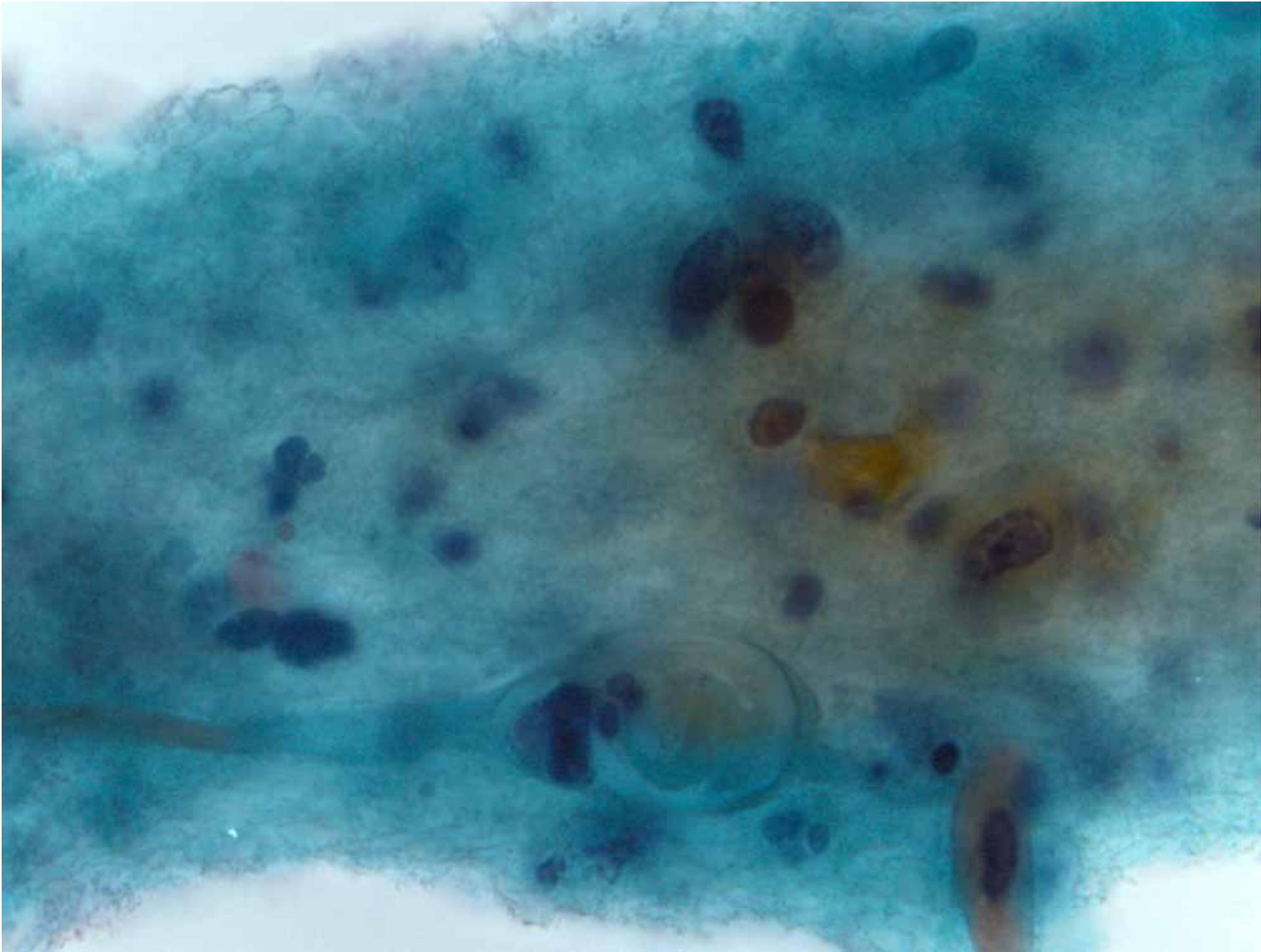
## < 標本 >

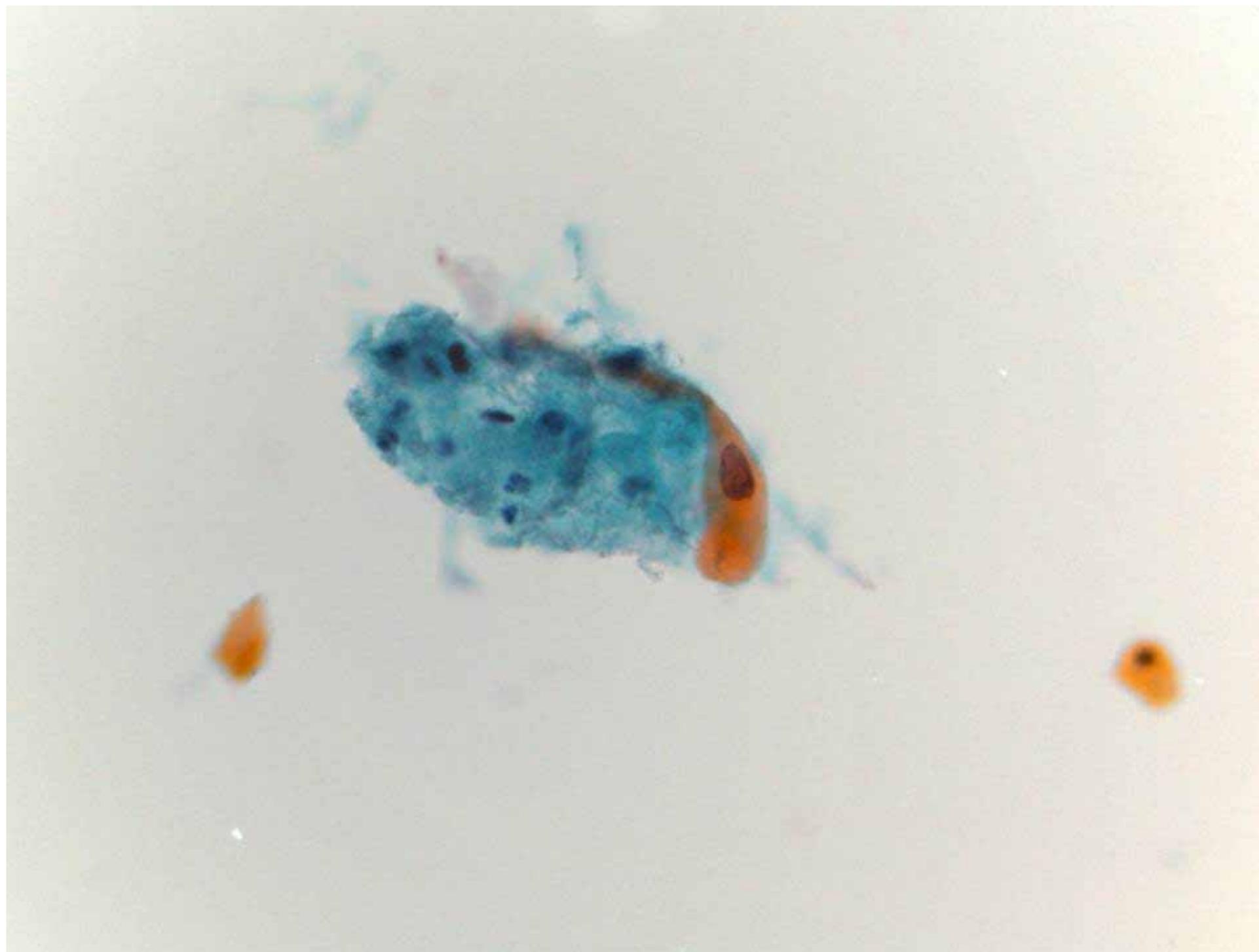
- 子宮頸部細胞診
- 採取法; Bloom Brush法
- 液状処理検体 (ThinPrep法)

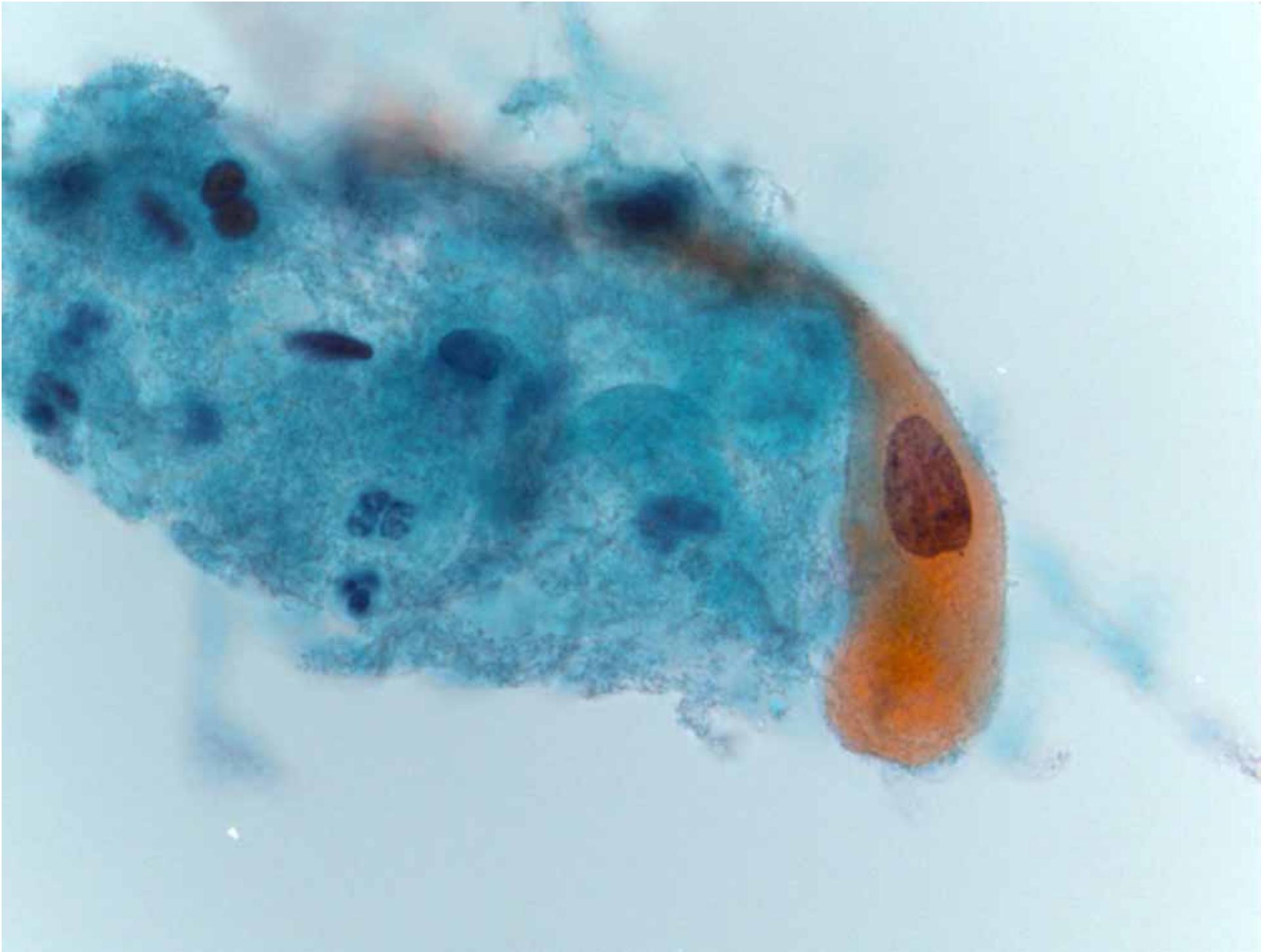


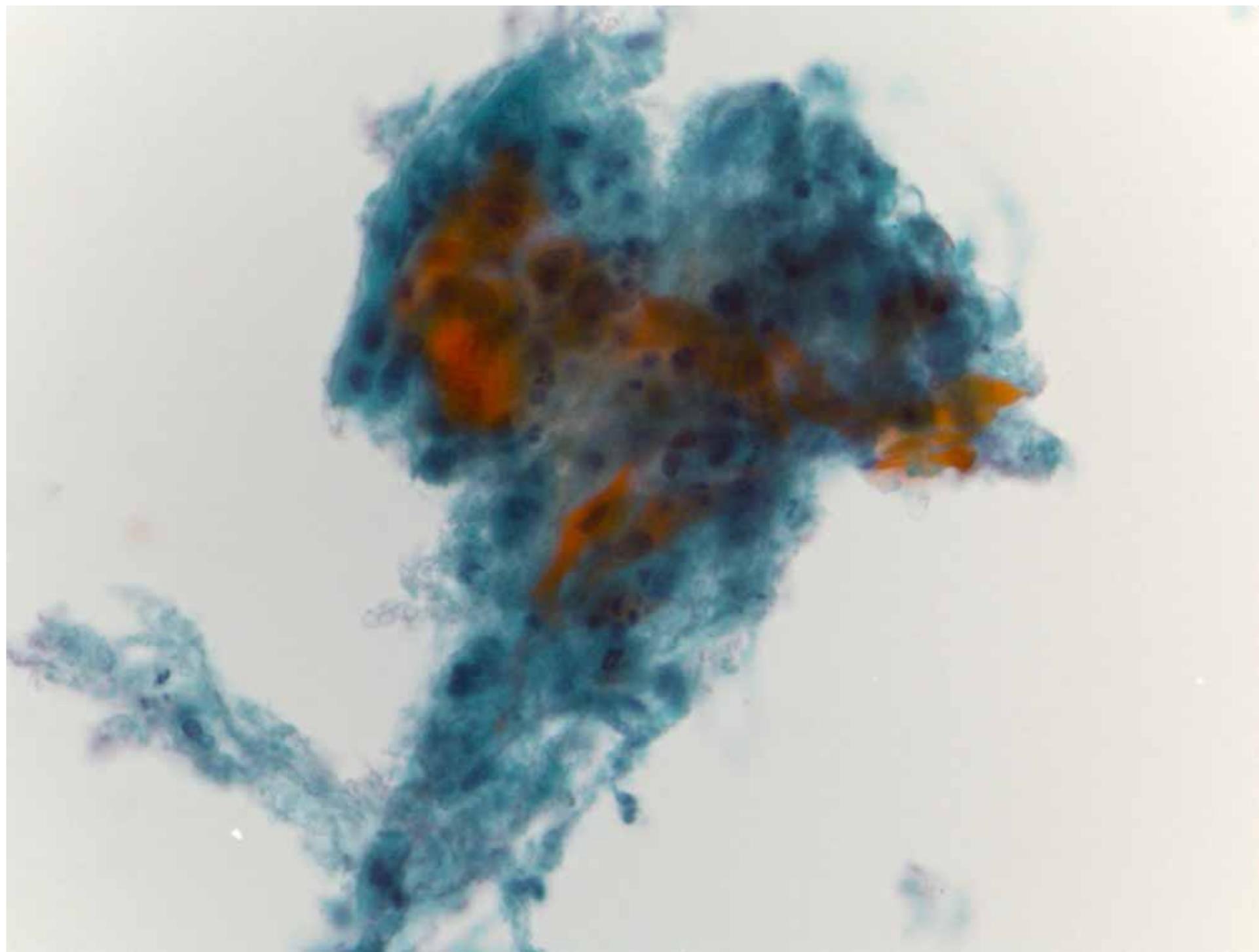


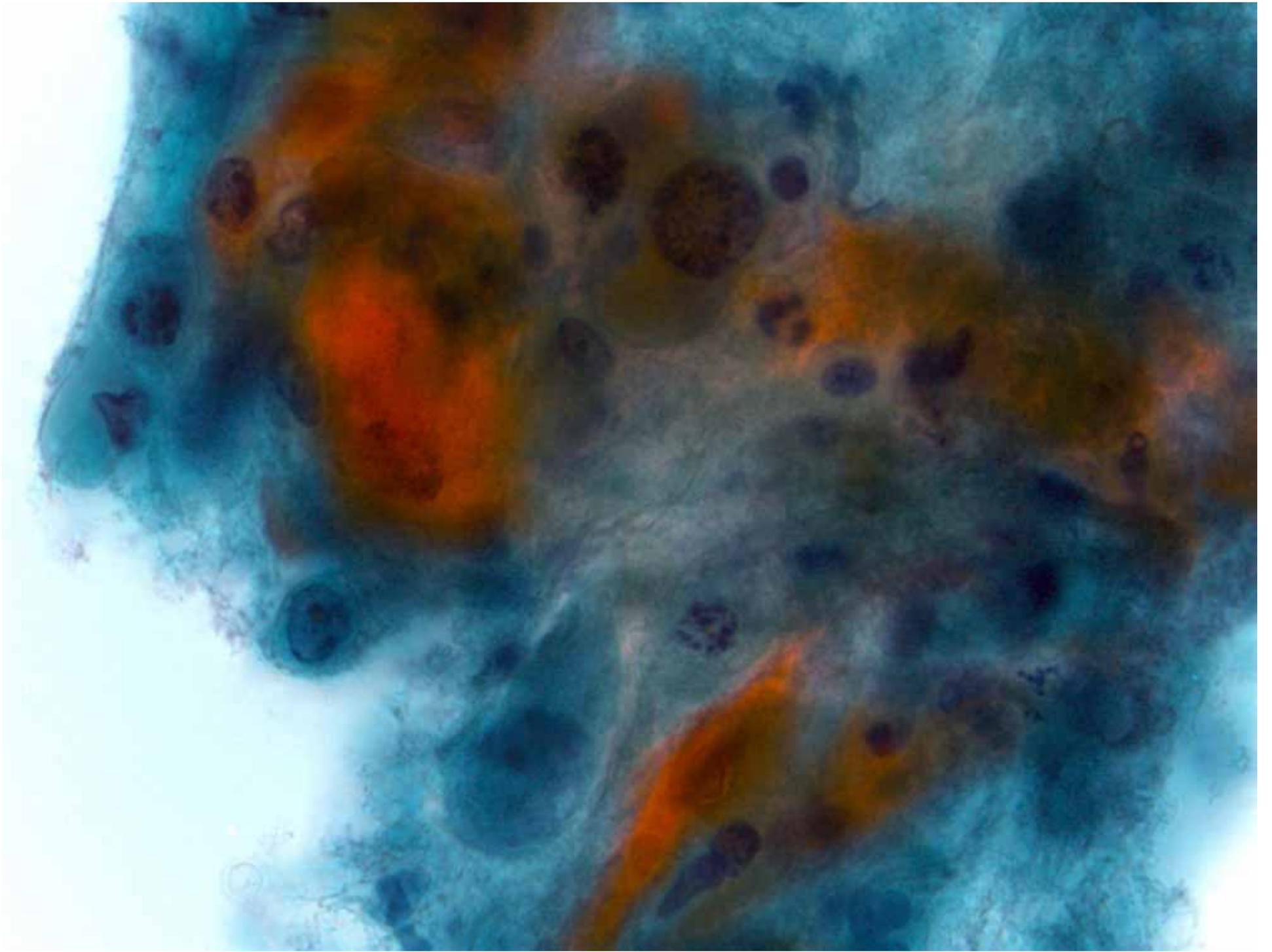












## < アンケート用選択肢 >

- 1) 子宮頸部異形成
- 2) 子宮頸部上皮内癌
- 3) 子宮頸部扁平上皮癌
- 4) 子宮頸部腺癌
- 5) その他

# 投票結果

# Case 1

• 子宮頸部異形成	0044
• 子宮頸部上皮内癌	0009
• 子宮頸部扁平上皮癌	0088
• 子宮頸部腺癌	0007
• その他	0015
<hr/>	
• 合計	0163

第47回臨日本床細胞学会秋期大会  
スライドセミナー

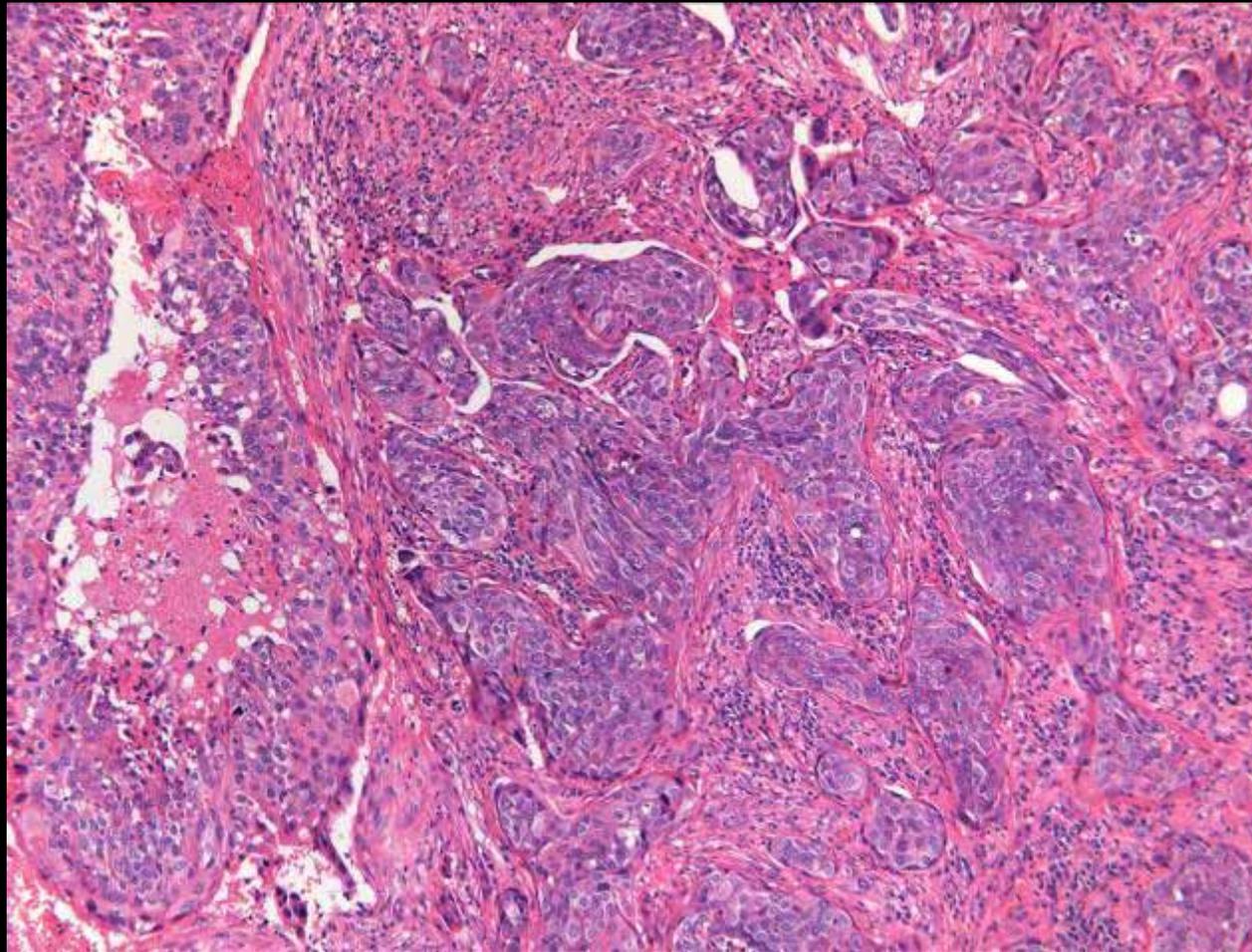
婦人科(LBC)  
解説

癌研有明病院 婦人科  
藤原 潔

# 臨床経過

- 71歳 1G0P 51歳 閉経
- 既往歴;
  - 30歳 虫垂炎
  - 35歳 肺結核
- 合併症;
  - 70歳 高脂血症 (現在治療中)
- 現病歴;
  - 当院初診の2ヶ月前より不正性器出血を自覚
  - 当院初診1ヶ月前に前医を受診、精査目的で当院受診を勧められた

# 生檢組織診斷；扁平上皮癌



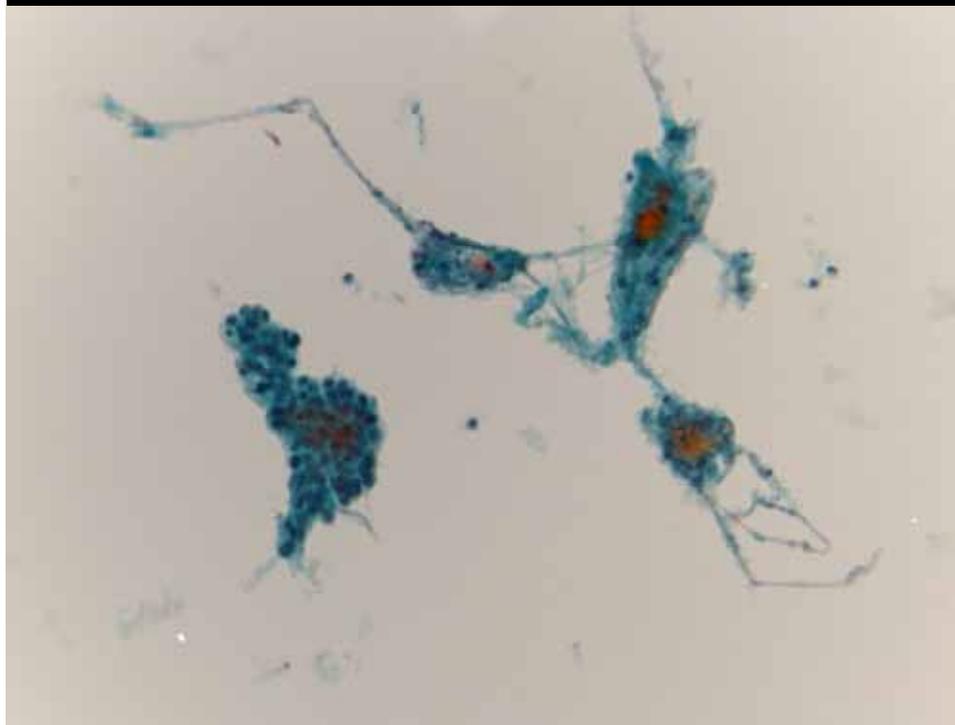
# 診斷

- 子宮頸部扁平上皮癌
- FIGO stage IVa
- 治療 化学療法同時併用放射線療法

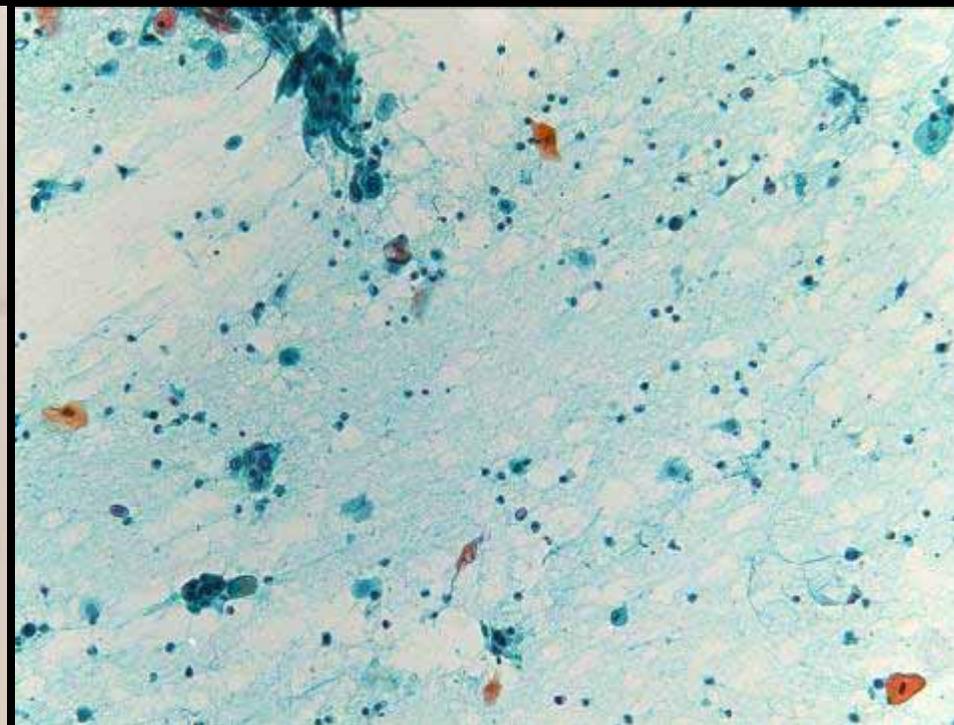
# 標本

- 子宮頸部擦過細胞診(ブルームブラシ)
- 液状処理検体(ThinPrep法による)

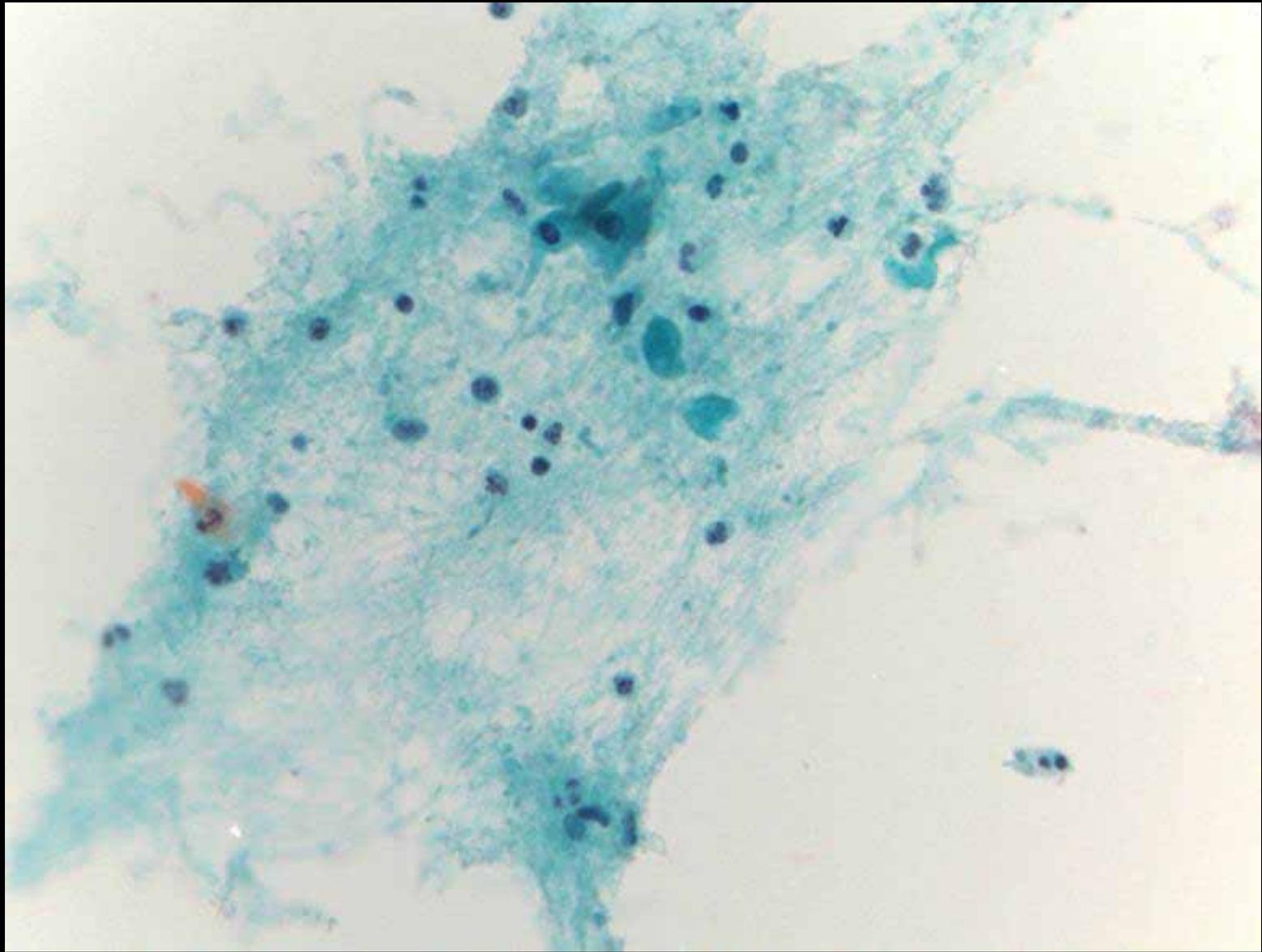
# 背景



LBC

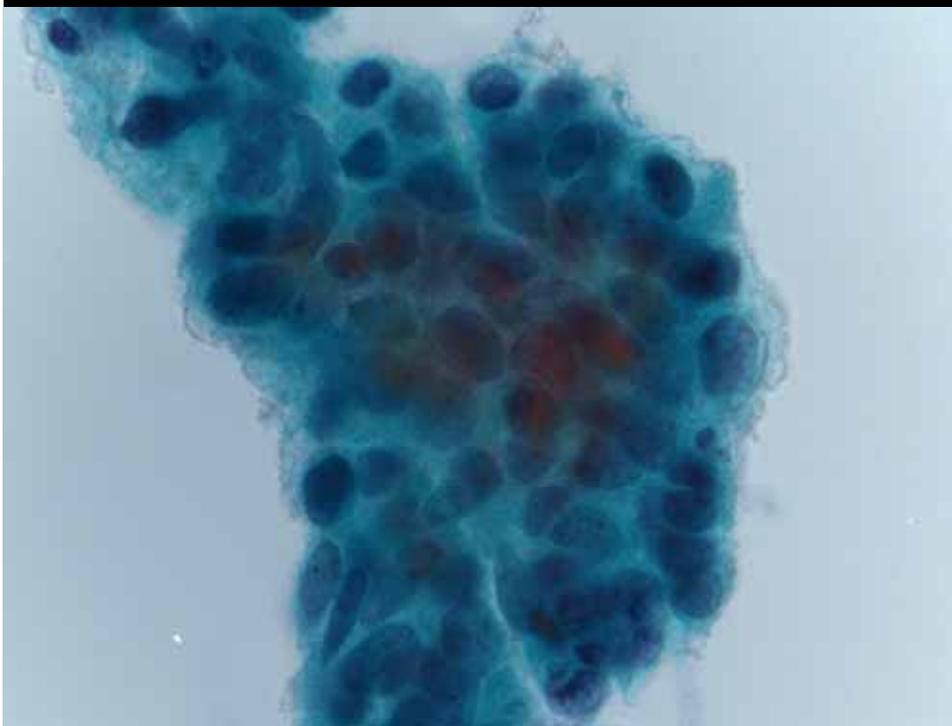


従来法

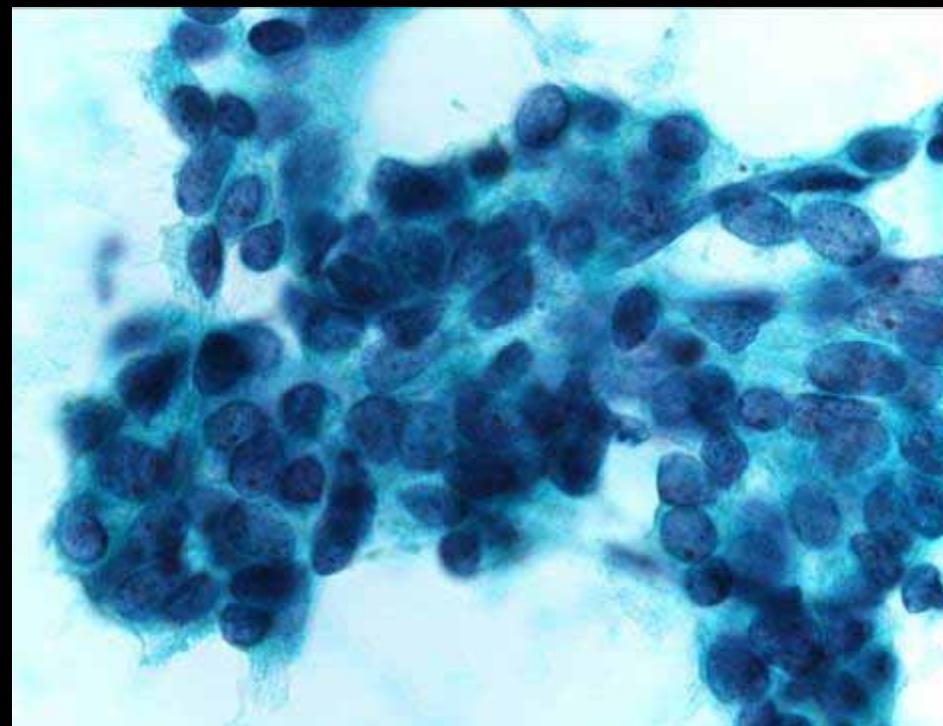


LBC

# 集塊状腫瘍細胞



LBC



従来法

# 角化型腫瘍細胞



LBC



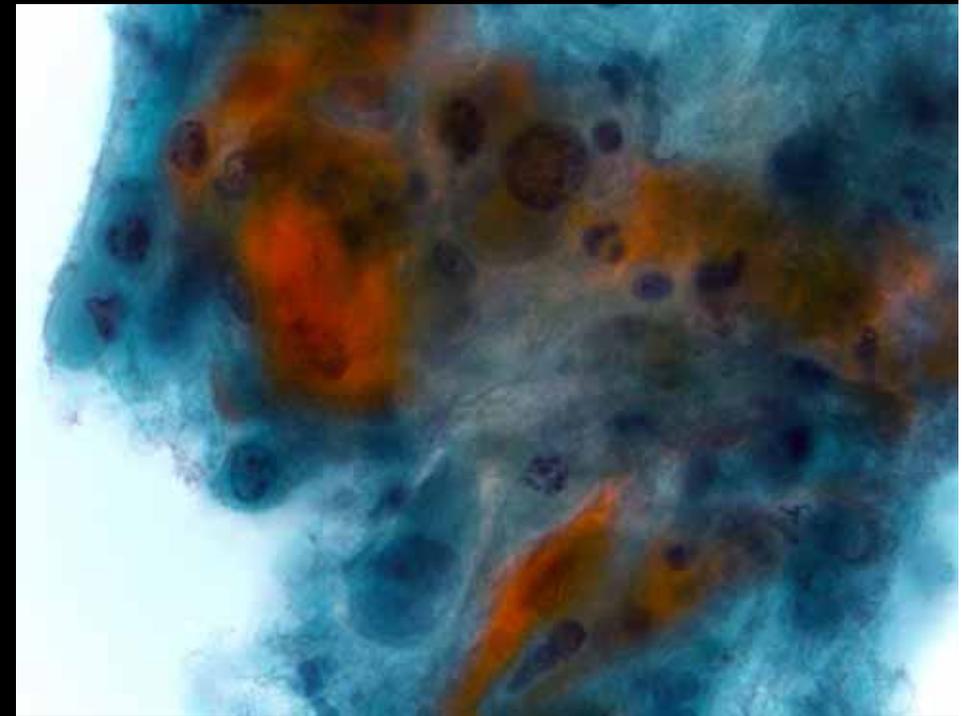
従来法

# Clinging diathesis

clinging; くっつく、粘着性の



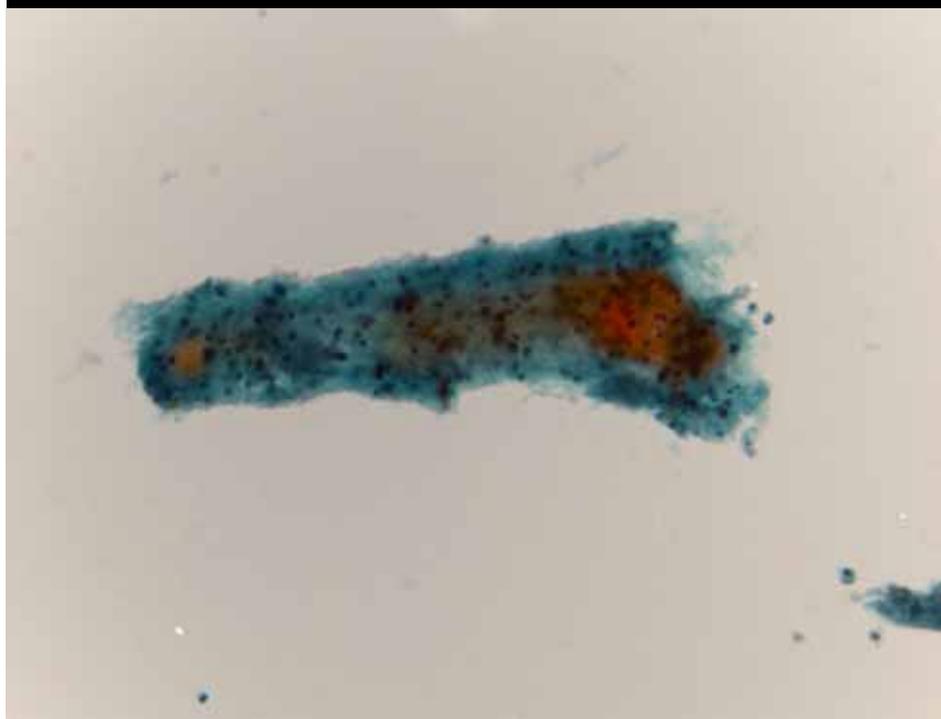
LBC



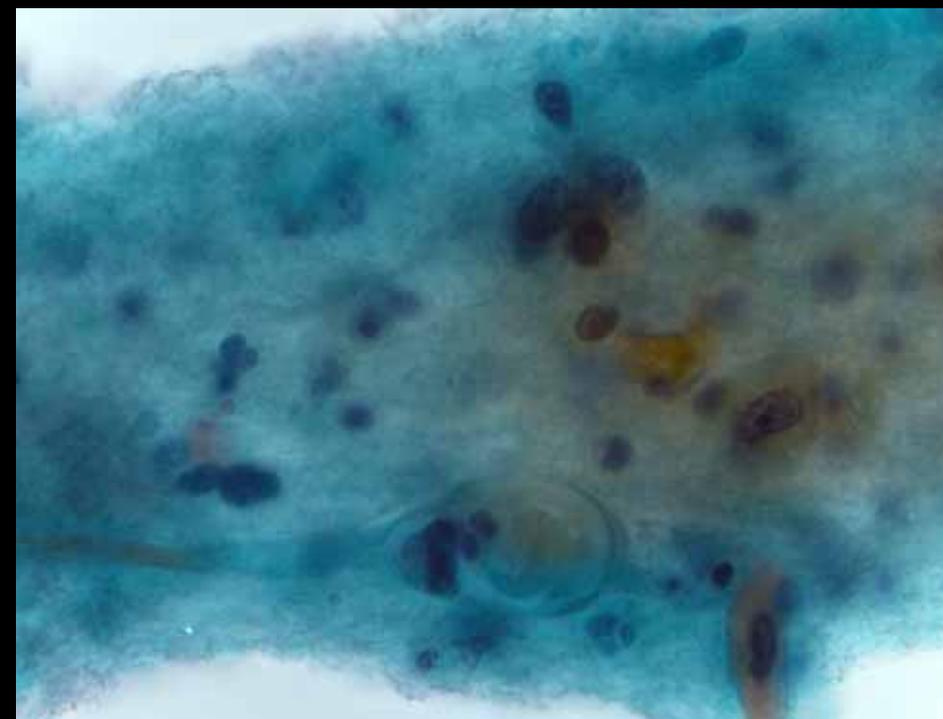
LBC

# Clinging diathesis

clinging; くっつく、粘着性の



LBC



LBC

# LBC: Liquid-Based Cytology

- LBC開発の目的
  - スクリーニングの感度向上
    - 従来法 (CP、Pap Smear test)と同様, 多くの研究において、どのグレードのSILに対しても感度はやや良好、特異度はやや不良となっているが、従来方がわずかに感度がよいとする報告もあり、未解決である
    - 検査の適切性についてもLBCによって向上できるとするもとの逆の意見があり未解決である
- LBCの利点
  - 同一検体でHPV testを行うことができる
  - ある程度の期間保存が可能であり細胞診標本の再作成、特殊染色の追加などが可能
- LBCの欠点
  - 従来法にくらべコストが高い
  - 従来法との所見の差？

# LBC: Liquid-Based Cytology (ThinPrep)の所見

## 従来法に比べ

- thin layerで細胞の重なりが少なく、鏡検しやすい
- 細胞の塗抹面積が狭い
- 背景がかわる（腫瘍性、炎症性背景を見落としやすい）
- 集塊は出現少なく小型である。但し立体感のある集塊になる
- 細胞質にはあまり変化がない
- 核所見は特にクロマチンがやや薄く、顆粒状変化が弱めに見えることがある

**診断にある程度の経験が必要**

# Point !

- Screeningでは**背景の変化**に注意
  - LBCでは腫瘍性背景が認めにくくなる
  - 凝集塊の中の異型細胞を見逃さない
- 細胞診断では**核所見の変化**に注意
  - クロマチンがやや薄く、顆粒状変化が弱まる

# LBC導入時の注意点

- 様々な細胞採取法
  - ブラシ
  - スパーテル
  - ブルーム
- 様々な検体処理方法
  - Thinprep (Cytic corp.)
  - Surepath (BD)
  - Cytoprep21 (武藤化学 婦人科領域は検討中)

それぞれに細胞像の特徴があり、どの方法で作製した検体かを区別することも重要